真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

事務事業名	少年指導センター運営事業		担当課・係	教育委員会　生涯学習課　青少年係
政策名　No	1	「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	5	青少年の健全育成		

成果指標

名　称	初年度からの実績値の比較						目標値
	単　位	R7	R8	R9	R10	R11	R11
将来の夢や目標を持っている青少年の割合	%	80.3					上昇
子ども会育成会に関する事業や青少年健全育成に関する事業への参加者数	人	3,028					3,000

事業内容

少年指導センターは、日常の街頭指導活動や親と子の相談電話等の直接青少年に接する活動と、青少年を取り巻く有害環境の浄化活動等の間接的な活動があり、青少年健全育成の気運を高めていくことを目的としている。
令和２年度より子ども見守りパトロールを業務委託し、下校時の児童生徒の見守りと街頭指導の運転業務を委託して実施。

令和6年度実績
・街頭指導活動：土日を除く220日実施。
・エリア指導：3回
・列車指導：(真岡鐵道上り・下り)の2コース。各11回
・特別指導：もおか木綿踊りは荒天のため中止。
・親と子の悩み相談電話：毎週月曜から金曜日(土日祝日を除く)の午前8時30分～午後5時まで。
しつけ、いじめ、子育ての悩みなど、親と子どもから悩みごとの相談を受けた。年間3件。

・青少年の不良行為を市が指導した人数：１人
・警察に補導された青少年数：77件

前年度の課題（Check）

○少年指導員の高齢化が課題となっている。
・少年指導員の増員を目指し、指導員を通じて呼びかけを行う。
○社会情勢の変化によりSNSを通じて青少年が犯罪に巻き込まれるケースや闇バイト等が問題化している。
・社会情勢にあった青少年の街頭指導活動となるよう、インターネット犯罪被害防止のための周知活動を行う。

７年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業

令和7年度実績
・街頭指導活動：土日を除く220日実施
・エリア指導：4回（うち3回は、SNS防犯チラシ配布）
・列車指導：(真岡鐵道上り・下り)の2コース。各11回
・特別指導：もおか木綿踊り時の巡回
・親と子の悩み相談電話受付　毎週月曜から金曜日(土日祝日を除く)の午前8時30分～午後5時まで。
しつけ、いじめ、子育ての悩みなど、親と子どもから悩みごとの相談を受けた。年間1件。
・青少年の不良行為を市が指導した人数：0人
・警察に補導された青少年数：83件（内訳：飲酒6件、喫煙19件、深夜徘徊58件）
【課題に対して】
・指導員が増員となるよう、指導員を通じて加入の呼びかけを行い、１名増員となった。
・新たにインターネット犯罪被害防止のための周知活動として、monaca等中高生が集まる場所において、少年指導員によるチラシや啓発物品の配布等を行った。

【２】結果と課題（Check）

・少年指導員の平均年齢が75歳で高齢化が進んでおり、若手の人材確保が必要である。
・青少年の非行行為は、街頭からSNS上へシフトしている可能性があるため、非行の未然防止策について、時代に即した内容にする必要がある。
・補導された理由では深夜徘徊が多数のため、街頭指導時間を遅くするなど対策が必要である。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
・深夜徘徊に対応した街頭指導の時間帯の調整
・児童、生徒、保護者向けの正しいSNSの使い方に関する講座等の開催

（2）長期的な計画で検討すること
・若手の指導員の確保
・青少年の非行行為の傾向を調査研究し、時代に即した少年指導が効果的に行えるようにする。